

SHARP®

MDポータブルレコーダー

取扱説明書

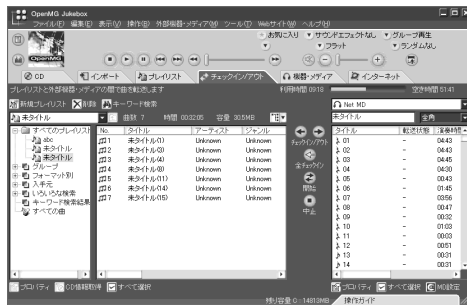
アイ エム エム ティー
形名 **IM-MT880**

ソフトウェア編

オープン エムジ ジュークボックス
**OpenMG Jukebox
Version 2.2 for SHARP**

MDポータブルレコーダー本体の操作については、「本体操作編」をごらんください。

NetMD
OpenMG



Windows® 98/98SE/Me/2000/XP 専用

ユーザー登録について

お客様へのサポートの充実をはかるため、「ご愛用者登録」をおすすめしております。

インターネットによる登録をされるには

インターネットによる接続環境をお持ちのお客様は、登録用のホームページ(<http://www.sharp.co.jp/immt880/user/register.html>)で、オンライン登録ができますのでご利用ください。

ハガキによる登録をされるには

付属の「ご愛用者登録カード」に必要な事項をご記入のうえ、郵送してください。

(オンライン登録をいただいた場合は、2重登録になりますのでカードを郵送しないでください。)

EMD(インターネット音楽配信)サービスについて

インターネットからのOpenMG 対応 EMD サービスをご利用になるには、以下の環境および手続きが必要です。

- インターネットへの接続環境。
(各サービスプロバイダーとの契約が別途必要です。)
- 各音楽配信サービスの実施主体者へのお申し込みと必要なプログラム類、および音楽ファイルのダウンロード。
(くわしくは、ご利用になる音楽配信サービス事業者にお問い合わせください。弊社にお問い合わせいただいてもお答えできませんので、あらかじめご了承ください。)

OpenMG Jukebox Version 2.2 for SHARP※について

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアの使用条件につきましては、ソフトウェアに付属の使用許諾契約書をごらんください。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り換えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証していません。

(※ 以下、「OpenMG Jukebox Ver.2.2 for SHARP」と記載。)

1 章	お使いになる前に	ページ
	安全に正しくお使いいただくために	4
	必要なシステム構成について	5
	Net MDについて	6
	著作権の保護について	7

2 章	準 備	ページ
	ソフトウェアをインストールする ...	8
	パソコンと接続する	10

3 章	使い方	ページ
	ソフトウェアを起動・終了する	12
	操作画面のなまえ	14
	音楽CDを録音して	
	ハードディスクに保存する	16
	音楽データをMDに転送する	
	(チェックアウト)	17

MDからパソコンにデータを転送する	
(チェックイン)	19
MDにタイトルをつける	20
グループ編集をする	22
ソフトウェアをアンインストールする ...	24

4 章	ご参考に	ページ
	著作権保護による制限事項	25
	「故障かな？」と思ったら	26
	用語解説	26

※ ソフトウェアの使用方法は、オンラインヘルプをごらんください。

本製品の取扱説明書は、次の2冊構成になっています。

- 本体操作編…本体をお使いになるための準備と、操作方法を紹介しています。お使いになる前に、必ずお読みください。
- ソフトウェア編…付属のソフトウェア「OpenMG Jukebox Version 2.2 for SHARP」の操作方法を紹介しています。

1 章

お
使
い
に
な
る
前
に

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。

その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

この記号は

気をつける必要があることを表しています。



この記号は

してはいけないことを表しています。



この記号は

しなければならないことを表しています。



⚠ 注意



水に濡らしたり、ぬれた手で接続ケーブルを抜き差ししないでください。

感電・事故の原因となることがあります。



異臭・異音・煙が発生したときは、パソコンやMDポータブルレコーダーの電源を切り、電源プラグを抜いてください。

火災の原因となることがあります。



落雷の恐れがあるときは、安全のため、パソコンやMDポータブルレコーダーの電源プラグを抜いてください。

発煙、発火の原因となることがあります。

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったときもしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

1 章

なる
使用
前に
に

必要
な
シ
ス
テ
ム
構
成
に
つ
い
て

以下のハードウェア、ソフトウェアが必要です。

動作環境 ※ 1	対応パソコン	IBM PC/AT 互換機（Macintosh などでは動作しません。）
	OS	Microsoft® Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP Professional/XP Home Edition 標準インストール※ 2（日本語版）
	CPU	MMX®テクノロジー Pentium® プロセッサ 233MHz 以上（Pentium II 400MHz 以上推奨）
	メモリ	64MB 以上
	ハードディスク	150MB 以上の空きが必要※ 3
	ドライブ	CD-ROM ドライブ※ 4
	接続ポート	使用可能な USB ポート
	ディスプレイ	800 × 480 ピクセル以上、ハイカラー（16 ビット）以上
	サウンドボード	Microsoft® Windows® 98/98SE/Me/2000/XP 対応のもの
	インターネット	音楽データのバックアップやインターネット音楽配信サービス利用時に必要です。

※ 1 適合する全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※ 2 標準インストールされた OS からのアップグレード環境および複数の OS のデュアルブート環境での動作保証はいたしません。

※ 3 Windows のバージョンによっては、それ以上使用場合があります。また、音楽データを扱うための領域がさらに必要です。

※ 4 WDM (Windows Driver Model) によるデジタル再生機能に対応していないドライブでは、CD からの録音に等速録音の数倍の時間がかかる場合があります。

- IBM および PC/AT は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh は、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- MMX および Pentium は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

1 章

お
使
い
に
な
る
前
に

Net MDについて

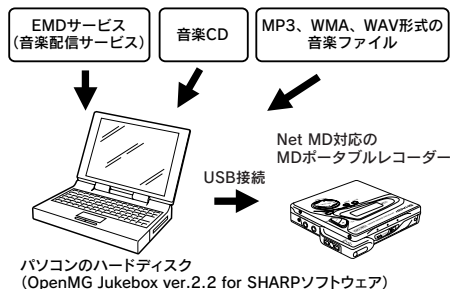
Net MDポータブルレコーダーとは？

2つの著作権保護技術「マジックゲート^{マジックゲート}」と「OpenMG^{オープン エムジー}」の採用により著作権者の意思に沿った音楽データの録音・再生が可能です。

USBを採用し、パソコンとMDの高い親和性を確保しています。

付属のソフトウェア「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」を使用して、パソコンのハードディスクに保存した音楽データをNet MD対応のMDポータブルレコーダーに転送できます。

パソコンからMDの基本的な操作ができ、MDに記録された音楽データのタイトル編集も可能です。



「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」では、以下の方法でデジタル音楽データをパソコンのハードディスクに取り込むことができます。

- インターネットなどを利用した音楽配信サービス
(^{イーエムディー}EMD=Electronic Music Distribution) でダウンロードした音楽をOpenMG方式のATRAC3形式に変換。
- パソコンのCD-ROMドライブからハードディスクに音楽CDを録音 (音声圧縮技術ATRAC3で圧縮)。
- 既存のMP3、WMA、WAV形式の音楽ファイルをOpenMG方式のATRAC3形式に変換。
(音楽ファイルの内容によっては変換できない場合があります。くわしくは、オンラインヘルプをごらんください。)

保存した音楽データは、MDへの記録方式に変更がないため既存のMD機器で再生することができます。
(MDLPモードを使用して保存した音楽データを再生するためには、MDLP対応のMD機器が必要です。)

「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」で管理する音楽データは、すべてOpenMG方式で暗号化してパソコンのハードディスクに記録されます。
このため、不正な使用や配信などを防止することができます。

- 「Net MD」は、OpenMG Jukebox のヘルプ内では、「外部機器・メディア」として記載されています。

1 章

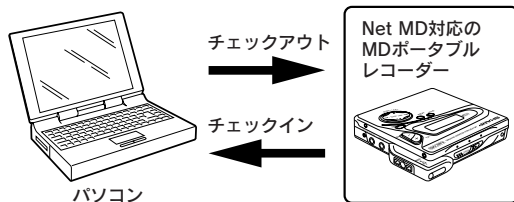
お
使
い
に
な
る
前
に

著作権の保護について

パソコンからNet MD対応のMDポータブルレコーダー IM-MT880への音楽転送について (チェックイン/チェックアウト)

付属のソフトウェア「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」を使用して、パソコンのハードディスクからNet MD対応のMDポータブルレコーダー IM-MT880へ音楽データを転送することができます。

音楽データをパソコンからNet MD対応のMDポータブルレコーダーへ転送することを「**チェックアウト**」と呼びます。Net MD対応のMDポータブルレコーダーからパソコンへ戻すことを「**チェックイン**」と呼びます。



チェックイン/チェックアウトの制限事項について

- ひとつの音楽データのチェックアウト回数制限は3回までです。（一部の音楽データを除く）
3回チェックアウトした曲は、それ以上チェックアウトすることはできません。ただし、一度チェックアウトした曲を「チェックイン」によりパソコンに戻せば、再びチェックアウトすることができます。
- チェックアウトした音楽データは、チェックアウト元のパソコンにのみチェックインできます。他のパソコンにチェックインをすることはできません。

くわしくは、「用語解説(チェックイン/チェックアウト)」(P.27)をごらんください。

各音楽データの持つ制限事項について

インターネットなどによる音楽配信サービスの普及により、高品質なデジタル音楽コンテンツが手軽に入手できるようになる一方で、不正な配布による著作権の侵害を防ぐため、音楽データ自体に記録や再生方法、チェックアウトの回数に制限が付加された状態で配信されるものがあります。本機は、著作権者の意図に沿った記録や再生ができるように著作権保護技術を搭載しています。具体的な音楽データのNet MD対応機器へのチェックアウトの可否や回数については、各音楽配信サービスにお問い合わせください。

2 章

準
備

ソフトウェアをインストールする

「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」のインストール方法

1. お使いのパソコンとMDポータブルレコーダーを接続する前に、必ずソフトウェアのインストールを行ってください。
2. ソフトウェアのインストールをするときは、他のすべてのプログラムを終了してから行ってください。他のプログラムが起動した状態でインストールを行うと不具合を生じることがあります。

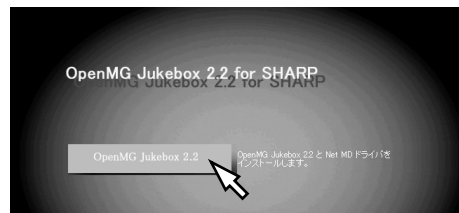
ソフトウェアをインストールすると、「Net MD」のドライバも自動的にインストールされます。

注意

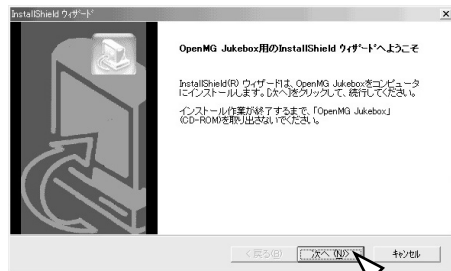
- すでにお使いのOpenMG Jukeboxで、「タスクトレイにアイコンを表示する」設定にしている場合は、アイコンを右クリックして、「タスクトレイからはずす」を選んでから、インストールしてください。

(例：Windows®98 の画面で説明しています。)

- 1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。
インストールするときは、Windowsの他のアプリケーションは終了させておいてください。
- 2 付属のCD-ROM をCD-ROM ドライブに挿入する。
- 3 画面の「OpenMG Jukebox 2.2」ボタンをクリックする。



4 画面に従って、インストール操作をする。



パソコンの動作環境にもよりますが、インストール開始から終了まで、15～20分かかります。

5 「Sharp Net MD 情報のインストールを完了しました」と表示されたら、**完了**をクリックする。

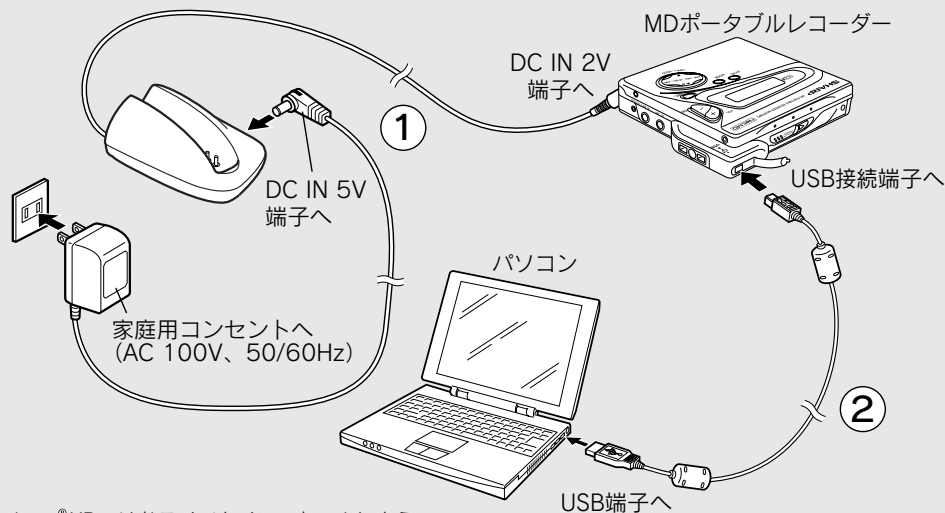
ソフトウェアが、下記のフォルダ内にインストールされます。
「C:¥Program Files¥OpenMG¥OpenMG Jukebox」

2章

準備

パソコンと接続する

付属のUSB 接続ケーブルを利用して、お手持ちのパソコンと MD ポータブルレコーダーを接続します。



お知らせ

- Windows® XPではドライバをインストールしようとしたときに、Windowsロゴテストによる互換性の検証がなされていないことを知らせるメッセージが表示されますが、動作には問題ありません。
[続行]をクリックしてインストールしてください。

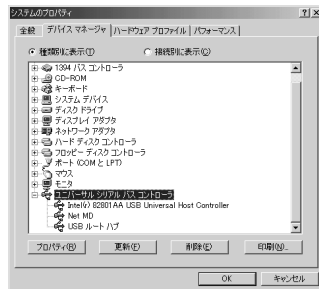
注意

- 1台のパソコンに2台のUSB機器を接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- USB接続ケーブルは、パソコンのUSBポートに接続してください。
USBハブ等を経由しての動作は保証できません。
- MDポータブルレコーダーとパソコンを接続しているときは、他のUSB機器は取り外してご使用ください。音飛びが発生する場合があります。
- MDポータブルレコーダーは、ACアダプターで使用することをおすすめします。
- 本システムの操作中に、パソコンやMDポータブルレコーダーの電源が供給できない状況になったときや、接続コードがはずれたりしたときは、TOC情報が書き込まれない場合があります。
その場合は、最初から操作をやり直してください。
- 自作機やマザーボード変更などの改造を加えているパソコンに関しては、動作保証しかねますのであらかじめご了承ください。
- 二股ケーブルや延長ケーブルなど、接続ケーブル以外のものを接続すると、回線品質が下がり、正常に動作しない可能性がありますので注意してください。

USBドライバの確認

MDポータブルレコーダーを接続した状態で、「コントロールパネル」→「システム」のプロパティを開き、「デバイスマネージャ」を選択して、次のデバイス名を確認してください。

- ユニバーサルシリアルバスコントローラ
「Net MD」



Windows® 2000では

「コントロールパネル」→「システム」のプロパティを開き、「ハードウェア」を選択したあと、「デバイスマネージャ」を選択してください。

Windows® XPでは（カテゴリ表示の場合）

「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」のプロパティを開き、「ハードウェア」を選択したあと、「デバイスマネージャ」を選択してください。

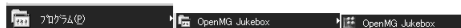
3 章

使い方

ソフトウェアを起動・終了する

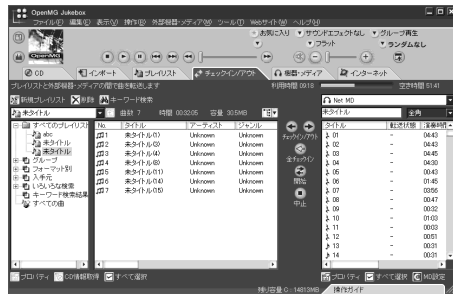
「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」の起動方法

- 1 MD ポータブルレコーダーに MD を入れる。
- 2 スタートメニューの「プログラム (P)」→「OpenMG Jukebox」をクリックする。



設定によっては、OpenMG Jukebox が自動的に起動します。

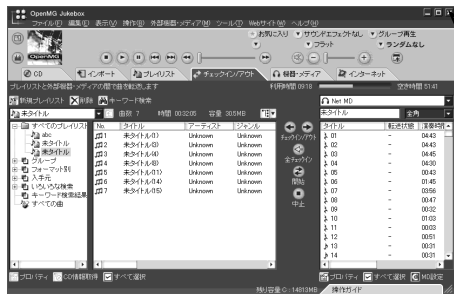
- 3 操作画面が表示される。



MD 本体の表示部に「PC」と表示されます。

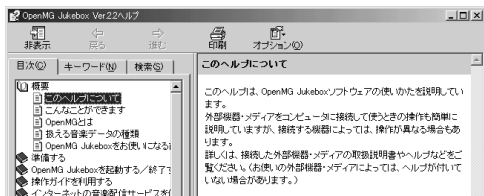
「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」の終了方法

Xをクリックする。



「オンラインヘルプ」の起動方法

操作画面右上にある「ヘルプ (H)」をクリックし、「OpenMG Jukeboxのヘルプ (H)」を選択すると、オンラインヘルプが表示されます。



「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」の「[CD]」、「[インポート]」、「[プレイリスト]」、「[チェックイン/アウト]」、「[機器・メディア]」、「[インターネット]」などのくわしい操作方法については、オンラインヘルプをごらんください。

(「[アナライザ]」、「[イコライザ]」、「[ボーカルキャンセル]」機能は、本機では使用できません。)

3 章

使い方

操作画面のなまえ

[CD] 画面

CD タブをクリックすると、以下の画面が表示されます。



1 再生操作ボタン

再生、音量調節などを行います。

2 再生モード切り換えボタン

ランダム再生、リピート再生などを選びます。

3 クローズボタン

OpenMG Jukebox ver.2.2 ソフトウェアを終了します。
[ファイル] メニューから [終了] を選んでも終了できます。

4 録音ボタン

録音を開始／停止します。

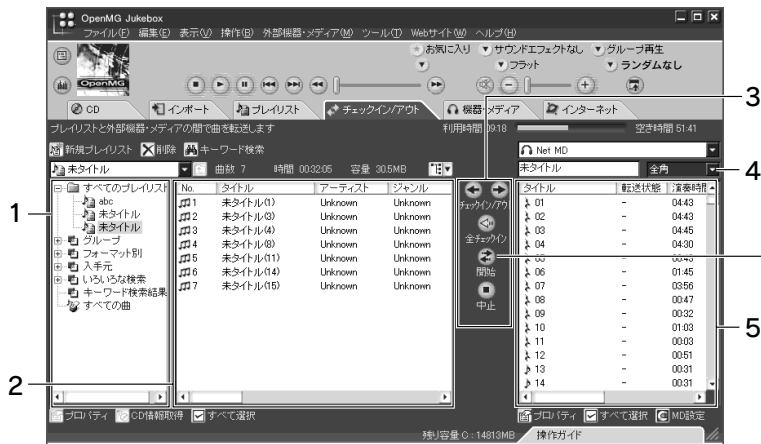
5 曲リスト

CD の内容を表示します。

※OS の設定によっては、パソコンに音楽 CD を入れたときに、使用するオーディオプレーヤーを選択する画面が表示されます。OpenMG Jukebox を常に使用する設定にすることをおすすめします。

「チェックイン／チェックアウト」画面

チェックイン／チェックアウトタブをクリックすると、以下の画面が表示されます。



■ 開始ボタンについて

表示されていないときは

- ・チェックイン／アウトボタンをクリックすると同時にチェックイン／チェックアウトが開始されます。

表示されているときは

- ・開始ボタンをクリックするとチェックイン／チェックアウトが開始されます。

開始ボタンを表示するには

「ツール」→「設定」を開き、「外部機器・メディア」を選択したあと、「ボタンの表示／非表示」の「開始ボタンを表示する」を設定する。くわしくは、オンラインヘルプをごらんください。

1 ツリービュー

プレイリストなどがWindowsのエクスプローラのようなツリーで表示されます。

2 リストビューウィンドウ

ツリービューで選択している項目の下位の項目が一覧で表示されます。

3 チェックイン／チェックアウト移動操作ボタン

選んだ曲のチェックイン、チェックアウトを行います。

4 MD タイトルの全角／半角切換

タイトル表示を全角にするか半角にするか選択します。「表示 (V)」→「MD 表示 (D)」でも選択できます。

5 曲一覧ウィンドウ

接続した機器の情報を表示します。

3 章

使
い
方音
楽
C
D
を
録
音
し
て
ハ
ー
ド
デ
ィ
ス
ク
に
保
存
す
る

CDを録音してハードディスクに保存する

「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」ソフトウェアを使って、CDの曲をパソコンのハードディスクに保存することができます。

1 録音したい音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。

設定によっては、CDを入れると「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」が自動的に起動します。

2 「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」ウィンドウの「CDタブ」をクリックする。

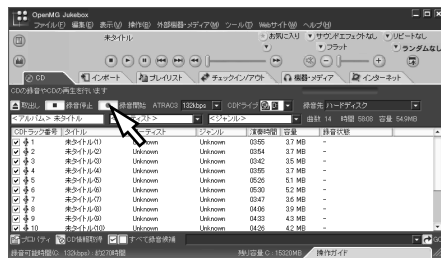
「CD」画面が表示され、CDの内容が表示されます。

CDドライブチェック画面が表示されたら

「チェック開始」を選ぶことをおすすめします。
なお、CDドライブの最適化はあとから行うこともできます。

くわしくは、オンラインヘルプをごらんください。
(最適化には最大で20分ほどかかることがあります。)

3 [●] (録音) をクリックする。



音楽CDの録音が始まります。録音が終了すると、録音した音楽CDが新規アルバムとして「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」に登録されます。

好きな曲だけを選んで録音するには

録音したくない曲の曲番号(トラック番号)をクリックして、チェックをはずしてから[●] (録音) をクリックします。

3 章

使
い
方音楽データ
をMDに転送する
(チェックアウト)

ビットレートについて

録音する際のビットレートを 132kbps、105kbps、66kbps から選ぶことができます。選択したビットレートによって音質と録音可能時間が異なります。

bps の数値が高いほど高音質になりますが、録音した曲のデータの容量は大きくなります。

くわしくは、オンラインヘルプをごらんください。

「MD 設定」の「チェックアウト時の録音モード」で「LP ステレオ録音」を選択するとビットレートにより、MD に記録されるモードが下記の通り設定されます。

132kbps = LP2

105kbps = LP2

66kbps = LP4

また、「ステレオ録音」を選ぶといずれのビットレートでも SP (ステレオ録音) で MD に記録することができます。

アルバムや曲に名前をつけるには

ハードディスクに保存したアルバムや曲にお好みの名前をつけることができます。(全角で 127 文字まで)

くわしくは、オンラインヘルプをごらんください。

チェックアウトする

あらかじめ、MD の入った MD ポータブルレコーダーとパソコンをつないでおいってください。

( 10 ページ)

1 OpenMG Jukebox の右側に曲一覧ウィンドウが表示されていることを確認する。

外部機器・メディアが接続されていない場合、画面の右側には曲の一覧が表示されません。

2 チェックアウトしたい曲を含むアルバムをクリックする。

アルバム内の曲が表示されます。

3 チェックアウトしたい曲をクリックする。

複数の曲を選ぶときは、Ctrl キーを押したまま、曲名をクリックします。

また、連続した曲を選ぶときは、Shift キーを押したまま、曲名をクリックします。

次のページにつづく

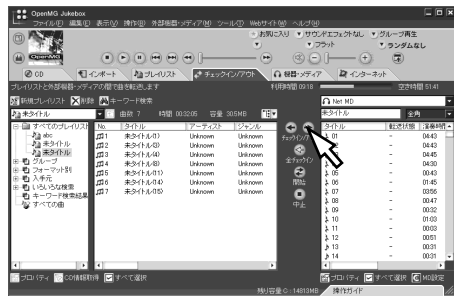
3 章

使い方

音楽データをMDに転送する
(チェックアウト)(続き)

4 ④チェックイン/アウトボタンをクリックする。

チェックアウト候補曲がリストビューウィンドウに表示されます。



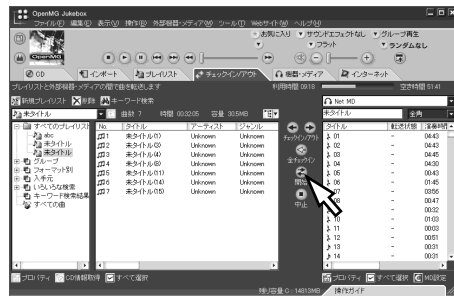
「開始」ボタンが表示されていないときは、チェックアウトを開始します。
くわしくは、オンラインヘルプをごらんください。

注意

- チェックイン/チェックアウト中に、USBコネクタの接続およびパソコン・MDポータブルレコーダーの電源が切れると音楽データが失われるおそれがあります。
- チェックアウトした曲を他のパソコンで削除すると、チェックインすることができなくなります。

5 「開始」ボタンをクリックする。

チェックアウト候補曲がMDポータブルレコーダーにチェックアウトされます。



チェックアウトが終了すると、曲名の前の→が♪アイコンに変わり、曲一覧のグレー表示が通常の表示に戻ります。

チェックアウトが終わったあと、MDを取り出すには以下の手順で行ってください。

1. USBコネクタをMD本体からはずす。
2. MDの電源を切る。
3. MDを取り出す。

チェックアウトを途中でやめるには「中止」をクリックします。

3 章

使
い
方

MDからパソコンにデータを送る

チェックインする

MDに入っている曲をパソコンに戻すことを「チェックイン」と言います。チェックインはチェックアウトしたパソコンにのみできます。

1 MDを入れたMDポータブルレコーダーをパソコンに接続し、「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」を起動する。

チェックイン/チェックアウト画面が表示されます。くわしくは、15ページをごらんください。

2 曲一覧ウィンドウで、チェックインしたい曲をクリックしてから、 チェックイン/アウトボタンをクリックする。



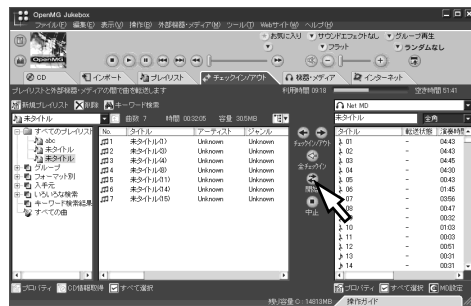
複数の曲を選ぶときは、Ctrl キーを押したまま曲名をクリックします。

また、連続した曲を選ぶときは、Shift キーを押したまま曲名をクリックします。

「開始」ボタンが表示されていないときは、チェックインを開始します。

くわしくは、オンラインヘルプをごらんください。

3 「開始」ボタンをクリックする。



チェックイン候補曲がハードディスクにチェックインされます。

チェックインが終了すると、曲一覧ウィンドウからチェックイン候補曲が消えます。

チェックインを途中でやめるには
「中止」をクリックしてください。

お知らせ

MD への TOC 書き込みについて

- チェックイン/チェックアウトが終了したときに TOC の記録を始めます。TOC を記録しているときは、MD 本体表示部の **TOC** が点滅します。(くわしくは、本体操作編33ページをごらんください。)

3 章

使い方

MDにタイトルをつける

「ディスク名・トラック名」入力画面



ディスク名・トラック名を入力する

「機器・メディア」画面でディスク名・トラック名を入力することができます。

ディスク名を入力するには

画面の1にディスク名を直接半角入力する。

トラック名を入力するには

1. トラックを選択する。(画面の2)
2. [プロパティ] をクリックする。(画面の3)
3. 曲のプロパティ画面でトラック名を半角入力する。(画面の4)

- 全角入力も可能ですがMD本体側では表示できませんので、カタカナ／アルファベット／数字・記号で半角入力されることをおすすめします。

お 知 ら せ

MD への^{トラック}TOC 書き込みについて

- ディスク名、トラック名を入力したときは、MD本体の停止ボタンを押すと、TOCが記録されます。TOCを記録しているときは、MD本体表示部の^{TOC}が点滅します。

(くわしくは、本体操作編33ページをごらんください。)

注 意

- 「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」で入力した文字が40文字を超えるディスク名・曲名をMD本体側で変更しようとするとき、「NAME CUT」が表示され、40文字にカットされます。新しい文字を入れる場合は、一度すべての文字を削除してください。

MD設定について

MD 設定ボタン(画面の5)をクリックすると、以下の設定ができます。

〈チェックアウト時の録音モード〉

チェックアウト時の録音モードを「LP ステレオ録音」または「ステレオ録音」に設定できます。

〈チェックアウト時タイトル入力エリアの設定〉

ハードディスクに保存されているアルバムや曲をMDにチェックアウトするときMDのディスク名、トラック名への入力方法を設定します。

- ・ 全角／半角エリア両方に入力する。
- ・ 全角エリアのみ入力する。
- ・ 半角エリアのみ入力する。

※すでに入力されているディスク名、トラック名の全角／半角を一括して変更するには、「編集(E)」→「全角／半角一括変換(N)」で変更します。

※アルバム名や曲名で半角にできない文字(漢字など)は空白になります。

〈削除時の確認〉

MDの曲を削除する前に、チェックインを行うように設定することができます。

3 章

使い方

グループ編集をする

「グループ編集」画面



グループ編集をする

「機器・メディア」画面でグループ編集をすることができます。

グループを作成するには（グループリザーブ）

1. [新しいグループ] をクリックする。（画面の 1）
2. 新規グループの作成画面でグループを作成する。（画面の 2）

あらかじめ曲を選択しておく、選択した曲はそのグループに入ります。

グループを移動するには（グループチェンジ）

移動したい曲を選択し、左クリックで移動先のグループにドロップする。
（グループ内の曲順も指定できます。）

グループを削除するには（グループイレース）

[×削除] ボタン（画面の 3）をクリックして、グループ削除画面で削除する。

- グループのみ消去するか、グループに含まれる曲も合わせて消去するか選択できます。
グループのみ消去したときは、その曲はノングループになります。

■ MD 編集に関するご注意

- 「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」では、曲の移動／削除などのMD編集はできますが、デバイド／コンバインはできません。
- 「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」から MD ヘチェックアウトした曲を他のMD機器などで削除／デバイド／コンバインを行うと、チェックインはできなくなります。
- 「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」から MD ヘチェックアウトした曲をMD本体のオールイレース機能で消すと、チェックインはできなくなります。
- 「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」でグループ名を全角で入力したあとに、MD本体で編集すると全角のグループ名と半角のグループ名が一致しなくなることがあります。

お
知
ら
せ

MD への^{トック}TOC 書き込みについて

- グループ編集したときは、MD本体の停止ボタンを押すと、TOC が記録されます。
TOC を記録しているときは、MD 本体表示部の **TOC** が点滅します。
（くわしくは、本体操作編 33 ページをごらんください。）

3 章

使
い
方ソ
フ
ト
ウ
エ
ア
を
ア
ン
ス
ト
ー
ル
す
る

「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」のアンインストール

「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」を削除したいときは、以下の手順でアンインストールしてください。

1 コントロールパネルを表示する。

スタートメニューの[設定]にポインタを合わせ、[コントロールパネル]をクリックします。

2 [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックする。

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

3 自動的に削除できるソフトウェアの一覧から、[OpenMG Jukebox] をクリックする。**4 [追加と削除] をクリックする。**

[OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP] がアンインストールされます。

5 [OpenMG Secure Module 3.0.01] と [Sharp Net MD 情報] も同様にクリックして削除する。**注意**

- アンインストールを行っても音楽データはハードディスク上に残されています。音楽データは再度「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」をインストールすると使用することができます。
- 「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」をアンインストールする前に、念のため「OpenMG Jukebox バックアップツール」で音楽データのバックアップを取っておくことをおすすめします。「OpenMG Jukebox バックアップツール」の使用方法につきましては、「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」のオンラインヘルプをごらんください。

4 章

ご参考

著作権保護による制限事項

OpenMGでの著作権保護による制限事項

本製品は、音楽コンテンツの著作権保護の仕組みとして、著作権保護技術「OpenMG」を採用しております。著作権保護された音楽コンテンツをパーソナルコンピュータで取り扱うために、OpenMGは高度な暗号化技術を用いています。

本製品と付属ソフトウェアOpenMG Jukeboxには、SDMIの取り決めに従って音楽著作権を保護するための暗号技術を利用したシステムが組み込まれています。このため、ご使用いただくにあたり以下のような制限があることをご理解ください。

1. 本製品は付属ソフトウェアOpenMG Jukeboxをインストールしたパソコンとの組み合わせでご使用いただく仕組みとなっております。他の条件ではご使用いただけません。
2. 付属ソフトウェアOpenMG Jukeboxを用いてパソコンのハードディスクに入れた音楽は、そのデータを他のパソコンなどにコピーしても再生することはできません。
3. 本製品にパソコンから転送（チェックアウト）した音楽データは、転送元であるパソコン以外に転送（チェックイン）することはできません。
4. 複数のパソコンに同一のOpenMG Jukeboxをインストールすることはできません。

5. 音楽データの利用方法に関する条件（Usage Rule）について

著作権者やサービス事業者の意志により、音楽データに利用条件（Usage Rule）が付加されている場合、この条件にしたがった操作のみが可能になります。音楽CD等で利用条件が付加されていない音楽データの場合は、SDMIの基本ルール（Default Usage Rule）に従った操作のみ可能です。この基本ルールでは、「ひとつの音楽データにつき、チェックアウトの回数制限は3回まで」となっています。

6. OpenMG Jukeboxにて取り扱えない音楽データについて

- 本ソフトウェアでは、SDMIの取り決めにより、コピー禁止信号が埋め込まれている音楽データを取り扱うことはできません。
- DVDオーディオ装置等で録音した音楽を、付属ソフトウェアOpenMG Jukeboxを用いて取り込もうとした場合、コピー禁止信号を検出し、取り扱えない旨の警告を表示することがあります。

7. 付属ソフトウェアOpenMG Jukeboxのバージョンアップについて

本ソフトウェアでは、SDMIの現在の取り決めに基づいて作られています。この規定が将来、新規定に移行した場合、本ソフトウェアの一部の機能は使えなくなる可能性があります。この場合には、アップグレードにて対応させていただく予定です。なお、アップグレードは有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

4 章

ご参考に

用語解説
「故障かな？」と思ったら

このようなときは

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。

OpenMG Jukeboxを起動しても、MD本体のディスプレイに「PC」と表示されない

- ➡ パソコン側またはMDポータブルレコーダー側のUSBコネクタが抜けていませんか。
- ➡ MDに電池またはACで電源供給されていますか。

接続中の動作が不安定

- ➡ 付属のUSBケーブル以外を使用していませんか。

画面が作動しない

または、誤作動する

- ➡ パソコンが故障していませんか。
- ➡ 別のアプリケーションを同時に使用していませんか。

編集ができない

- ➡ パソコンとMDポータブルレコーダーが正しく接続されていますか。
- ➡ MDが誤動作防止状態になっていませんか。
- ➡ 市販の再生専用MDが入っていませんか。

用語解説

マジックゲート

MagicGate

OpenMGを搭載したパソコンと「マジックゲート」対応機器との相互認証により、データ通信の暗号化を行い、著作権を保護する技術。

デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。

● **MAGICGATE**は、著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。

オープンエムジー

OpenMG

音楽配信サービスや音楽CDのコンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術。パソコンにインストールしたOpenMG対応ソフトウェアで、音楽コンテンツをハードディスクに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しむことができる一方、インターネットなどへの不正な配信を防止します。

また、「マジックゲート」に対応しているので、「マジックゲート」搭載の端末として認証された機器およびメディアにコンテンツの記録が可能です。

エスディーエムアイ

SDMI (Secure Digital Music Initiative)

全世界に共通して使用できる著作権保護技術の統一方式を開発するために、約130社以上の企業・団体がレコード業界、コンピュータ業界、民生用エレクトロニクス業界などから集まり構成されたフォーラム。音楽ファイルの違法な使用を阻止し、合法的な音楽配信サービスを促進するための枠組み作りを行っています。

著作権保護技術「OpenMG」はSDMIの規格に準拠しています。

チェックイン／チェックアウト

パソコン上でOpenMG対応ソフトウェアで管理している音楽データを、Net MD 機器に転送することを「チェックアウト」と言い、チェックアウトした音楽データを元のパソコンに戻すことを「チェックイン」と言います。(チェックアウトしたデータを他のパソコンにチェックインすることはできません。)

1度チェックアウトしたデータをチェックインによりパソコンに戻した後、再びチェックアウトすることも可能です。

特別に利用方法に関する条件が付加された音楽データを除き、SDMIの基本ルールでは音楽データは1回のコピーで4部まで作成可能なため、1部はパソコンの内部に保存され、残りの3部はNet MD 機器へチェックアウトできます。

アトラックスリー

ATRAC3

「Adaptive TRansform Acoustic Coding3」の略。高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術で、MD (ミニディスク) に採用されている圧縮方法に比べ、約2倍の圧縮性能を高音質で実現する技術です。音楽データをCDの約1/10 (LP2) に圧縮可能で、メディア容量の小型化が可能です。

エムピースリー

MP3

「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループであるMPEGで定めた音声圧縮の規格です。音声データをCDの約1/10に圧縮できます。アルゴリズムが公開されているので、エンコーダ/デコーダはさまざまなものがあり、フリーウェアの出現でコンピュータの世界で広く普及しました。

ビットレート

1秒当たりの、情報量を表す数字のことです。単位はbps (bit per second)。読みかたは、「ビービーエス」です。OpenMG Jukeboxでは、CDを録音またはMP3/WMA/WAV ファイルをATRAC3に変換する際のビットレートを132kbps/105kbps/66kbpsから選べます。

例えば、105kbpsは、1秒間に105000bitの情報を持っているということを表します。この数字が大きい程、音楽を再現するために多くの情報を持っているということになるため、同じ符号化方式 (ATRAC3など) の比較では、一般に66kbpsよりも105kbps、105kbpsよりも132kbpsの方が良い音で楽しめるということになります。

(MP3等、他の符号化方式の音とは単純な比較はできません。)

【お問い合わせは】

- 「OpenMG Jukebox ver.2.2 for SHARP」についてのお問い合わせは、ユーザーサポートセンターへご連絡ください。

ユーザーサポートセンター

電話番号 (03) 5396-1236

受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00
月曜日～金曜日（祝日およびシャープ所定の休日を除く）

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- ・ 形名：IM-MT880
- ・ ご相談内容：できるだけ詳しく
- ・ お買いあげ年月日：
- ・ ご使用のパソコン環境
 - ー パソコンの形名、OS
 - ー メモリー容量
 - ー ハードディスクなどの容量

- MDポータブルレコーダー本体（ソフトウェアは除く）のご意見・質問は、シャープお客様ご相談窓口へお申し付けください。

お客様ご相談窓口

本体操作編の取扱説明書（94ページ）に記載の「お客様ご相談窓口のご案内」をごらんください。

- インターネットによる接続環境をお持ちのお客様は、ユーザーサポートページ（<http://www.sharp.co.jp/support/immt880/user/index.html>）でサポート情報などをお知らせいたしますのでご参照ください。

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電話 (06) 6621-1221（大代表）

AVシステム事業本部 〒739-0192 東広島市八本松飯田2丁目13番1号
電話 (0824) 28-2401（大代表）

TINSJ0129AWZZ

Printed in Malaysia

A0111.YT